



ほぼ初体験 なかなかやるじゃん！！

初体験 コツをつんだかな？

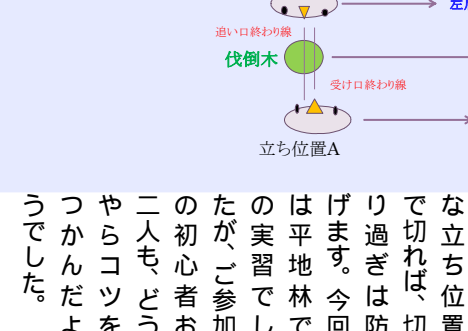
カラマツなどの針葉樹は、いま10 齢級(46 年生以上50 年生未満)をモードとして8 (12 齢級)がおよそ3 分の2 を占めています。樹種や地位など生育条件の違いはありますが、極端になことを言え、間伐の効果も期待できるのは12 齢級まで、そのタイムリミットが近づいてきています。そして人

林業も農業と同じように、担い手の高齢化や輸入品との価格競争など色々な問題を抱えています。そして農業と違う点の一つは60 年以上育てないと製品にならない、という点もあります。すなわち一度決めた方針を途中で変更することが非常に難しい点です。そして、農地改革のような波をかぶらずには来ましたが、逆に輸入自由化

手入れをしながらはならない山林はたくさんあるが、人手が足りない。給料が少ないので後継者が集まらない。間伐した材は搬出したいが市場に出しても材価が低い。危険な仕事なので教育訓練に力を入れたいが、そんな時間も金銭的余裕も少ない。身動きのとりにくい状態なのですが、きつとどこかに抜け出す道があるはず。島崎先生がおっしゃるように、間伐は難しくはありませんが、隣の木との間隔が、高さの2 割くらいになるように伐ってあげたいのです。そして可能ならば搬出して先人の植えた木を何らかの形で使いたいものです。

講師・スタッフ/島崎先生 和泉、早川 一日目の夕方は例によって交流会。残念ながら先生は先約がありご欠席でしたが、結構遅くまで山の話で盛り上がりました。翌日もあるので10 時過ぎ就寝。二日目は現場3 時に終了。道具を片付けるや否や、バケツをひっくり返したような夕立。間一髪セーフで、帰路につく。5 分後に大田切川を渡ったら、そこは全く雨が降っていませんでした。半径1 km 程度の局所豪雨だったようです。

1. 伐倒の手順 ④立ち位置を決める(基本) 受け口伐りは、体の中心を伐り終わり線の位置に置き、右肩がまっすぐ伐倒方向を向くように立つ。(立ち位置A)。受け口が出来たら、反対側に回る 追い口伐りも同じく、体の中心を追い口終わり線に置き、左肩を伐倒方向に向け立つ。(立ち位置B)



の波は数十年前からさらさらまわっています。また代わりで山林の境界が曖昧になっていふ不具合にも見舞われていませ

集中コース夏の部 7月29日(金)~31日(日) 参加者/清水さん、杉浦さん、豊田さん、中田さん、西澤さん、有賀さん

手入れをしながらはならない山林はたくさんあるが、人手が足りない。給料が少ないので後継者が集まらない。間伐した材は搬出したいが市場に出しても材価が低い。危険な仕事なので教育訓練に力を入れたいが、そんな時間も金銭的余裕も少ない。身動きのとりにくい状態なのですが、きつとどこかに抜け出す道があるはずです。島崎先生がおっしゃるように、間伐は難しくはありませんが、隣の木との間隔が、高さの2 割くらいになるように伐ってあげたいのです。そして可能ならば搬出して先人の植えた木を何らかの形で使いたいものです。

講義・スタッフ/島崎先生 和泉、早川 一日目の夕方は例によって交流会。残念ながら先生は先約がありご欠席でしたが、結構遅くまで山の話で盛り上がりました。翌日もあるので10 時過ぎ就寝。二日目は現場3 時に終了。道具を片付けるや否や、バケツをひっくり返したような夕立。間一髪セーフで、帰路につく。5 分後に大田切川を渡ったら、そこは全く雨が降っていませんでした。半径1 km 程度の局所豪雨だったようです。

次回以降の予定 通年コース第9・10回 8月26・27日(金・土) 間伐・集材 引き続き駒ヶ根市のヒノキ林で間伐のつづきと、さらに林内作業車で集材を試みます。

ワンポイントアドバイス 伐倒時、基本の立ち位置 今回の集中コースご参加6 人のうち、2 人は伐倒経験がほとんどない方で、すなわち変な癖がついていない、白紙状態の方でした。そこで、伐倒時の立ち位置の基本をしつかり守って伐ってもらいました。それは... チェーンソーを始動させ、両足、両肩の延長線を伐倒方向に向け、受け口水平切りの、切り終わりの位置に立つ。受け口を切り終えるまで両足はその位置で固定。チェンソー・バーを水平にし、膝を曲げ切り始め位置に当て、バーが体の正面に来るまで切る。

バーを抜き、左手ハンドルの位置を45 度の位置に持ち換え、膝で斜め切りの切りはじめの位置までバーを戻し、斜め切りをする。ポイントとは、受け口の切り始めから完成まで足の位置を動かさないことです。また、両肩と腕でできる三角形も最初から最後まで形を変えないことです。体の真正面で切り終わることにすれば、水平きりも必然的に正しい深さに届きます。

悩んでいる方は、一度基本に戻って伐ってみたらいいかなという。追い口も同じ様な立ち位置で切れば、切り過ぎは防げます。今回は平地林での実習でしたが、ご参加の初心者お二人も、どうやらコツをつかんだようでした。

リレー通信

「何のために森林塾に通っているのだろう」

青木 啓志

これまで里山や森林の保全活動に関わった経験もないし、自分の山を持っているわけでもなく、将来林業家としてやっていくほど若くもない、それならどうして森林塾に月に1度通うようになったのか。それはよくあるように、都会に住む人間の無い物ねだりで、大きな自然となんらかの関係を持っていたいと思うようになったからなのかもしれません。あるいは、およそ20年前、学生時代の師匠に連れられて行ったベトナム虫採り行が遠因



頂上まで草がわずかに生えただけの丸坊主の山があるばかりでした。峠を越えるために上っていくと、森林限界を超えたためガレ場が広がっているだけでした。ハノイを出

なっているのかもしれない。ハノイから車で2時間弱北へ走るとタムダオという村につきました。そこは、標高千メートルくらいの、露店のような飲食店が数件あるだけの小さな村でしたが、由緒ある寺院もあり、少し豊かになり始めていたベトナム富裕層が訪れる避暑地でもあるようでした。虫を採るために上った吹き上げから眺めると、圧倒的なカシヤシヤなどの常緑広葉樹林が広がっていました。

ところが翌年、ハノイからダイエンビエンフー(ラオスとの国境沿いにあり、フランスから独立する際に激しい戦いが行われた村です)に向けて車を走らせたときは、悲惨でした。行けども行けども虫がいそうな森がないのです。というか森そのものがあまりなく、山の斜面は切り開かれてトウモロコシ畑になっ

て、頂上まで草がわずかに生えただけの丸坊主の山があるばかりでした。峠を越えるために上っていくと、森林限界を超えたためガレ場が広がっているだけでした。ハノイを出

発して3日目の夜、ダイエンフーに着いたときは、みんなはほとんどやけっぱちでした。単に虫が採れなかつただけでなく、日本の風景によく似たベトナム北部の山がこんなにひどい状況になっていることに、愕然としたのでした。これに比べて、日本の山はなんて豊かなのだろうと思いましたが、それは当時の私が無知だったからでした。ベトナムに虫採りに行く以前は、山に行くことはほとんどありませんでした。実際の野生ネズミを採取に行ったことや、大学の演習林があつた芦生に一度遊びに行った程度でした。虫屋ではないので、自分一人で虫採りに行くことはありません。学生時代は山よりも海によく通いました。大学に入ってすぐに始めたスキューバダイビングは、当時、今ほどポピュラーではなく、ウエットスーツは漁師が着るのと同じような黒色のものがメインでした。ダイバーの数も少なく、潜りに行くことシヨップには私たちがだけというところもよくありました。春休みや夏休みの長期休みには、西表島をメインに八重山の島々や、座間味、久米、また奄美大島や喜界島で潜りましたが、普段は、紀伊半島の先端、串本に通って

ました。当時、大学のあつた京都から串本まで車でおよそ7時間、学生だからできたのでしょうか、月に一度、多い月には二、三度通っていました。ダイビングをやる人の多くは水中写真を撮ることを目的に潜っていますが、当時の私たちには水中カメラやハウジングを買うようなお金はありません。水中カメラは憧れの的、もっぱら水中ノートに見た魚の絵や特徴を書き、陸に上がってから東海大学の魚類大図鑑で魚種を調べるということに熱中していました。

魚をスケッチし、図鑑で調べるといふこの方法は、仕方なくやっていたものでした。が、自然を知るといふ点では、きわめて有効な方法でした。はじめのうちは、やみくもに魚をスケッチしていたので、後で図鑑を見るとマーカーで印がしてあり、「なんだ、この間見たやつか」と何度も同じことを繰り返していました。

ところが、ある時潜っていたふと気づいたのです。初めて見る魚だけどスズメダイの仲間だとか、典型的ではないけれどきつとペラの仲間だとか、おおよそわかる。それぞれ仲間ごとに泳ぎ方に特徴があるし、なんとなく顔つきが似ていることもわかる。おそろく、繰り返し見

ているうちに魚を見る目が養われたのでしょうか。この段階になると、スケッチする魚の取捨選択も簡単にでき、またスケッチもすこく楽になりました。たとえば、ノートには、「ペラ科」と書き、スボットの位置や縞の本数、色や尾びれの形などを書くだけでよいのですから。魚の名前がおおよそわかると、見ている風景も一変します。魚の習性や性格、居る場所の特徴、イソギンチャクやサンゴなどとの関係もなんとなくわかってきます。こんな風に生き物を見る目は、「よくわからないけどひたすら見る」という長い時間の後、突然やってくるということを経験的に知りました。

生物の分類は、おおよそ「科」のレベルで見当が付くようになります。俄然面白くなり、すし、その生物が住んでいる環境との関係も見えてきます。

昆虫や魚、また哺乳類などの動物は、子供のころから好きでしたし、それなりに勉強してきましたが、植物には興味を持っていません。年齢まで来ました。森林生態学を含めて生態学全般についても、重要な学問だと理解しながらも、なんとなく苦手意識が今もあります。ただ、海での経験から、植物のことがわかったら、日常生活の風景が

きつと変わるだろうし、生態学も面白くなるのではないかと感じています。そして、頭では理解していても、身体的にわかなければ、あまり意味はないと思いますし、そもそも面白くありません。

学生時代とは異なり今では時間が有限なことは身をもって感じているので、面白くないことはしたくない。そういった意味で、森林塾に通おうと思ったのかもしれない。これまでの測量や測樹、間伐については、理論的なことは理解できたと思えますし、それなりに面白いのですが、やはり身体的にどうやって覚えていくか、やはり経験を積むことが大事なのだろうと思っています。

毎回のアンケートに「今日学んだことを、今後どう生かしていくか」という項目がありますが、いつも何を言いたらいかが途方にくれます。森林塾で学んだことを、今度どう生かしていくか、ということとはこれからゆっくりと考えてみたいと思います。もしかしら、一年間通ってからも自分を通して必要なのかもしれない。せん。



特別寄稿



「丹沢ヤマビル事情」
木村 勇 さん

只今通年コースに参加しています。自宅は東京にあります。自宅は東京にありすが週に数日は丹沢の山を徘徊している次第です。4月に入ると丹沢の登山者の口癖が「ヤマビル今日は多いかな」です。私も多分に漏れず今年も5か所、吸血されました。あまり気持ちの良いものではありません。そこで丹沢へ来られる方へ丹沢のヤマビル事情を少しお聞かせできればと思います。

しまいます。人が近づくと呼吸(炭酸ガス)体温、振動、臭いなどを感じる感覚器官を持ち先頭の人が通ると首を持ち上げます。ヒルを捕まえて息を吹きかけるとすごい勢いで首を伸ばしさがります。列で歩くと2番目3番目と後ろを歩く人が取り付かれ、止まると寄ってきて、5匹のヤマビルがまるで飛びつくように靴に付くのを見たことがあり(実に気色が悪い!!)。生息場所「ヤマビルは丹沢で東側に多く西側に少ないのですが、これはシカの生息場所にも影響している様です。シカやイノシシもヤマビルにとって大切な吸血源なのです。



対ヤマビル大作戦7つ道具

しかし活動の時期や場所は割合、限られていて標高100m以上になると、ほとんどいなくなり気温が15以下になると活動がほぼ止まる(12~3月)活動が最も活発になるのは、気温が25~30、湿度が60%以上で、雨の日か雨上がりで、登山道を歩

くとヤマビルが首を持ち上げてお出迎えをしてくれます。ほとんどのヤマビルは地面にいますが雨が降ると木に登り葉などに取り付いて、人が通ると雨にまぎれて落ちてきます。ヤマビルは雌雄同体ですが吸血すると雌になり、他の個体 オス と交配して1か月で5~8個の卵を産卵します。一度吸血すると1年以上生きられます。寿命は2年~3年、長いものは5年です。特に3年物は吸血の量も多く、シカの爪の間に入って移動し、生息範囲を広げているのが現状です。吸血ヤマビル被害「ヤマビルには逆Y字状に3つの顎があり石や葉の裏に潜んで近くを通る野生動物や人に取り付き、吸血しやすい体毛の少ない所に潜り込み、柔らかい表皮を3つの顎でY字に切り、にじみ出る血液を30分~1時間をかけて吸血します。吸血の際に痛みをなくし血液の凝固を妨げる「ヒルジン」という物質を出すため、本人は吸血されていることに気が付かず、吸血後傷跡からタラタラと出血が続きます。家に戻って靴下が真っ赤というパターンはよく聞く話です。



ご機嫌、新ヘルメット

ヤマビルに血を吸われたら「ヤマビルに吸血されたらすぐに取り除きます、ヤマビルはマダニと違い無理に引き剥がしても歯が皮膚に残ることはありませんが皮膚を損傷したり、傷口からの細菌感染を防ぐために、塩をかける・消毒用エタノールをかける・虫よけスプレーなどをかけるとすぐ落ちます。私はムヒ虫よけスプレー(ディート成分が多い)そのヤマビルは必ず殺すのがルール。塩をかける。ハサミで切る。殺ヒル剤をかける。私はヤマビルファイトージェットを使っています。ポイズンリムーバーでヒルジンを吸い出す(これをしておくと後で痒みが出ません)2~3分吸うとほとんどヒルジンが出るようです。きれいな水や消毒用エタノールで洗浄します(私には他の用途があるマキユロンを使います)。抗ヒスタミン軟膏(私はムヒアルファードX)を塗り、バンドエイドを貼り、出血が止まらない時は少しの間、圧迫止血(バンドエイドの上からガーゼでしばらく押さえる、2~3時間おきにバンドエイドを取り

替える。これでOK!! 吸血被害を防ぐには「靴や衣服に塗る方法・市販の虫よけ(2~3時間なら効果あり)ヒル専用忌避剤(4~5時間なら効果あり)20%の塩水やあら塩を靴に塗り込むのも効果あり(白く残ってオシヤレでない) 登山道を歩く時はなるべく真ん中を歩くこと。ヤマビルの大半は登山道の山側の枯葉の中にいます、休憩の時にリュックを置く時は要注意。 長袖・長ズボン・ハイカットの靴で、何人かで行動する時はお互いに身体に付いていないか見る癖をつけるなどです。丹沢を登る女性では毎年ヤマビル対策の流行があり、昨年はダブルストッキングで20~30cmの長さに2枚切り靴とズボンの間にスワパツの様に付け、ひと昔前のルーズソックスの高校生といった感じでした。今年はジーンズ生地に着目してインディゴ染というか日本という藍染めが、かなりヤマビルに有効でちょっとした話題となっています。もともと藍は防虫として機能があり、藍染めのスワパツを粋に履いて登山をする人も出てきました。ヤマビル対策も考えようでけっこう楽しませてくれるようです。

まあ、この様な感じで終わらせてもらいます。丹沢では楽しみながらのヤマビルとの戦いがまだまだ続きそうです。 **おわりに** 今号ではヤマビル対策のエキスパート、木村さんに一文を寄せていただきました。 幸い伊那市周辺の山林には今の所ヤマビルはいないようですが、近年シカやイノシシ、クマが増えているように、連中がヤマビルの生息域を広げているとのこと。飯田市以南の山林には生息しているの、温暖化もあいまって少し心配です。 マダニの被害は伊那市周辺でもちよくちよく聞かれます。こちらは感染症のリスクがあるので、食い込まれてしまったら医者に行つて外科的方法で取り除き、消毒をしてもらうことが肝心です。 ヒルもダニもクマもハチもいて、ウルシやノイバラがあるのが山というもののなので、それなりの覚悟とリスク管理が大切ですね。



投稿大歓迎。ご意見、ご質問
ご要望は事務局まで。
TEL 0265-70-7065
FAX 0265-70-7994
E-mail:
ki-hayakawa@koanet.co.jp
sh-sakano@koanet.co.jp
携帯:090-4463-0062(開催日)
URL http://www.koanet.co.jp